

第IV部：資料

(1) 厚生労働省『平成 17 年度能力開発基本調査』と経済産業省『企業活動基本調査』のデータマッチングについて

本研究プロジェクトでは、第Ⅰ部～第Ⅲ部の『働くことと学ぶことについての調査』の分析以外に、従業員への企業内訓練の実施、すなわち人的資本投資が企業の生産性の向上につながるのかを計量的に検証するため、厚生労働省『平成 17 年度能力開発基本調査』（以下、「能開調査」）と経済産業省『企業活動基本調査』（以下、「企活」）の特別集計を行った¹。ここでは、その作業結果を紹介する。

第Ⅰ部～第Ⅲ部で分析に用いた『働くことと学ぶことについての調査』は就業者調査であることから、企業の生産性の指標を客観的な数値として調査することはできなかった。そこで、企業の生産性についての数値データを豊富に調査している「企活」を用いた分析を企画した。しかし、「企活」には企業内訓練に関する情報がないため、民間企業の能力開発について詳細に調査をしている「能開調査」とのデータマッチングを行うこととした。

両調査には、帝国データバンクコードが共通に付与されており、これをキー項目として両調査のマッチングを試みた。

「企活」は平成 14～17 年度についての生産性指標を調査した平成 15 年～18 年の各年調査を用いた。平成 17 年度の「能開調査」は平成 16 年度の企業内訓練の実施について調査しているため、平成 16 年度の正社員と非正社員それぞれへの企業内訓練の実施が、(1)平成 16～18 年度各年度の生産性に与える影響と、(2)平成 15 年度とくらべた、平成 16～18 年度各年度の生産性上昇率に与える影響の 2 つの分析を計画した。

まず、「能開調査」と同一年度についての生産性指標を調査した平成 17 年「企活」のマッチングを行った。² 平成 17 年「企活」の帝国データバンクコードを付与されていたサンプルサイズは 27,868、「能開調査」企業票のサンプルサイズは 1,312 で、帝国データバンクコードを共通キー項目としてマッチさせた結果、382 サンプルがマッチされた。

計量分析に用いる変数の欠損がないという条件を課すと、サンプル数はさらに減少することから、この帝国データバンクコードを用いたデータマッチングだけでは、計量分析に十分なサンプル数が確保できないと考え、以下の方法で追加のサンプル確保を目指した。①本社所在地、②産業分類、③企業全体の平成 16 年度売上の 3 変数をキー項目として、マッチングを試みるという方法である。

共通キー項目として、④企業全体の常用雇用者数も候補として考えられたが、「企活」では「常用雇用者」だけの数値がなく、「有給役員」を含み、「他企業等への出向者」も含む数値であるのに対し、「能開調査」の方では単に「常用雇用者」で定義が同一ではないため、①～③だけでどの程度識別できるのか試みることにした。

¹ ここで用いられた個票データの使用に際しては、統計法等に基づいた統計の目的外使用の許可を得ている。

² 平成 17 年「企活」では、平成 16 年度の実績を報告している。

マッチングを試みた結果、①～③の3変数だけでは識別できないサンプルが多く存在することがわかった。そのため、帝国データバンクコードを用いたマッチングと異なり確実な識別のできないこの方法でのデータマッチングは断念することとした。帝国バンクのコードを用いてマッチングできたサンプルの基本統計量は、図表1のとおりである。

図表1 データマッチングできたサンプルの主な変数の記述統計量

	obs	Mean	Std. Dev.	Min	Max
「企活」					
売上	382	86324.38	310015.60	355	2846256
仕入高	373	55077.31	217077.90	0	2031935
常用雇用者数	382	1477.09	6780.49	50	111440
出向数	159	277.87	922.85	0	8062
パート（常用）	271	463.45	5891.14	0	96867
非常用従業員数	109	18.29	73.68	0	463
派遣	217	109.81	329.49	0	3063
有形固定資産額	379	21755.03	110030.80	0	1674750
外資比率	382	3.68	13.65	0	100
設立時期	382	1865.64	427.80	0	2005
「能開調査」					
正社O f f J T有無	382	1.46	1.52	1	9
正社O J T有無	382	1.63	1.56	1	9
非正社O f f J T有無	272	1.69	0.46	1	2
非正社O J T有無	275	1.72	0.45	1	2
派遣O f f J T有無	215	1.81	0.39	1	2
派遣O J T有無	218	1.79	0.41	1	2
O f f J T費用	241	15562.63	129315.60	5	1865000

次に、帝国データバンクコードでマッチできる382ケースで分析を行うべきかを検討した。図表1から、正社員についての計量分析には、370程度のサンプルは確保できることが分かる。これらのサンプルを用いて、分析計画(1)の中の正社員への企業内訓練が生産性に対して及ぼす影響についてOLS分析を行った結果が図表2である。(1)～(2)の被説明変数は平成16年度の常時従業員1人当たり売上の対数値で、平成16年度の訓練変数を入れた場合と入れない場合のモデルを推計している。このとき、固定資産と仕入高については、それぞれ常時従業員1人当りに変換した上で対数をとっている。一方、(3)～(4)は被説明変数が付加価値の対数値である。これは、付加価値＝営業利益＋給与総額＋租税公課＋減価償却費＋賃貸料で算出する。ただし、営業利益＝売上高－売上原価－販売費・一般管理費で算出している。

図表 2 生産性に対する企業内訓練の効果についての分析結果 (OLS 分析)

	(1) 常時従業員1人当たり売上	(2) 常時従業員1人当たり売上	(3) 付加価値(対数)	(4) 付加価値(対数)
対数固定資産(常時従業員1人当たり)	0.10618 [0.000]***	0.10529 [0.000]***		
対数仕入高(常時従業員1人当たり)	0.40341 [0.000]***	0.39252 [0.000]***		
対数常時従業員数			0.92097 [0.000]***	0.90712 [0.000]***
対数固定資産			0.14159 [0.000]***	0.14195 [0.000]***
正社員OffJT実施ダミー		-0.06111 [0.421]		0.10343 [0.247]
正社員計画的OJT実施ダミー		0.07829 [0.200]		0.06405 [0.371]
企業規模ダミー、本社地域ブロックダミー	Yes	Yes	Yes	Yes
Constant	1.77034 [0.000]***	1.74519 [0.000]***	1.40167 [0.000]***	1.38849 [0.000]***
Observations	363	339	359	337
R-squared	0.711	0.706	0.919	0.921
Fstats	41.969	36.272	190.961	175.071
p-value	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

p values in brackets

* significant at 10%; ** significant at 5%; *** significant at 1%

この結果から、いずれの定式化においても正社員への Off-JT 実施ダミーあるいは正社員への計画的 OJT の実施ダミーは、生産性に統計的に有意な影響を及ぼしていないことが示された。このような結果となった理由として、サンプルサイズが小さいことから推計係数の標準偏差が大きくなっていること、また、より深刻な問題として同時期の企業内訓練の実施と生産性についての分析であるため内生性が影響していること、以上2点が考えられる。当初は、さらに操作変数法を用いた分析を行う予定だったが、操作変数の候補となる変数についても欠損のないサンプルとなるとさらにサンプル数が減少することもあり、そうしたサンプルサイズでは、操作変数法を用いる妥当性を欠くと考え、分析はここまでで終えることとした。

最後に、異なる時点のデータマッチング、つまり「能開調査」と平成18年「企活」のデータマッチングの結果を紹介しておこう。平成18年「企活」のサンプルのうち24671サンプルについて帝国データバンクコードが付与されていた。これを用いて「能開調査」とマッチさせたところ、361サンプルがマッチできることが分かった。さらに、平成17年「企活」とマッチできた382サンプルは、この361サンプルの中にすべて含まれることもわかった。

「能開調査」は企業が行う能力開発の実態について詳細に調査しているものの、上記の分析に使える調査項目は含まれていない。また、パネル調査ではなく、毎年調査対象が変わる標本調査であるため、その他の年度の「能開調査」も用いても、企業の能力開発の実施が生産性に及ぼす影響を検証することはかなわない。そこで、本研究プロジェクトでは、「能開調査」とその他のデータとのマッチングを行い分析を試みたが、「企活」とのデータマッチングに関

しては、マッチング自体が容易ではないことが示された³。

【参考文献】

Abe, Masahiro and Isao Ohashi (2004) "Inter-Industry and Firm Size Effects on Wage Differentials and Efficiency Wages in Japan," Hitotsubashi University Research Unit for Statistical Analysis in Social Sciences Discussion Paper Series, No. 25, April 2004.

Hayami, Hitoshi and Masahiro Abe (1999) "Labour Demands by Age and Gender in Japan: Evidences from Linked Micro Data," Keio Economic Observatory Occasional Paper E. No 23, Feb. 1999: paper presented at the International Symposium on Employer-Employee Linked Data by Bureau of Census, Bureau of Labor Statistics, A.P.Sloan Foundation, National Science Foundation and European Union, Washington DC, 21-22 May 1998.

(黒澤昌子・原ひろみ)

³ Abe and Ohashi (2004) では、賃金センサスと『平成 11 年度女性雇用管理基本調査』のマッチングを行っており、両調査のうちマッチングできた事業所票は約 800 で、マッチング成功率は 11.4%と報告している (800 / 6990)。また、『商業統計』・『工業統計』と賃金センサスとの事業所番号を用いたデータマッチングに関しては、Hayami and Abe (1999) で試みがなされている。工業統計とのマッチング成功率は非常に低いものの (1992 年が 2.53%、1993 年が 1.58%)、商業統計とのマッチング成功率は高い (1992 年が 63.8%、1993 年が 84.3%、1994 年が 76.8%)。

(2) 『働くことと学ぶことについての調査』の追加変数について

『働くことと学ぶことについての調査』の概要は、調査シリーズ No. 63 にまとめられているとおりであるが、分析に際して必要な時間あたり賃金を以下のとおり新たに作成した。また同時に面接調査票で設問として直接設定されていないものの利用可能な情報を変数として追加した。

1. 分析に用いた時間あたり賃金の定義

2008年9月と2007年3月の給与を1時間あたりに換算し、その金額を時間あたり賃金と呼ぶ。時間あたり賃金は以下のように計算している。

2008年9月の時間あたり賃金について、まず9月の最後の週に働いていた場合、その時間あたりに換算した金額を用いる。支払い形態に関係なく給与を1時間あたりで回答している場合は、その金額を用いる。給与を1日あたりで回答している場合、1日の所定内労働時間を8時間とし、1日あたり給与を8で割った金額を用いる。給与を1ヶ月あたり、および1年あたりで回答している場合、1ヶ月を4週間、1年を48週間と仮定して、1週間の所定内労働時間にそれらを乗じたものをそれぞれの労働時間として時間あたり賃金を計算する。ただし給与の支払い形態が歩合給であり、かつ給与金額を1時間あたりで回答している場合は、その金額を用い、給与形態が歩合給であり、かつ給与金額を1時間あたり以外で回答している場合は、時間あたり賃金を計算できないため非該当とする。

次に2008年9月の最後の週に働いていなかった、あるいは無回答であった場合においても、月単位での回答を求めている2008年9月の給与については、支払われているケースもありうる。そのため給与を時間あたりの金額で回答している場合には、その金額を用いる。

2007年3月の時間あたり賃金は、上と同じように時間あたりに換算している。ただし2007年3月の最終週の所定内労働時間はレンジの情報のみ利用できる。そのため各レンジに対しては中央値を、オープンエンドの45時間以上に対しては45時間を所定内労働時間として、時間あたり賃金を計算する。具体的な変数作成の作業は、下記のとおりである。

(1) 2008年9月の給与 (wage08)¹

① 時間あたり賃金が計算できるケース ⇒ 時間あたり賃金

時間あたりに割り戻す基準は q42_1sq で判断する²。

・1時間あたり：金額そのまま ⇒ q42_1_1

¹ 以降の各変数の後ろにある括弧内の文字列 wage08, wage07, trng_before, secondee_returner, no_mrrg_period, no_child_period は、『働くことと学ぶことについての調査』のデータセット内に追加作成した変数名である。

² q42_1sq の他に以降で q から始まる文字列は、『働くことと学ぶことについての調査』のデータセットの変数名を表している。

- ・1日あたり：1日8時間で計算 ⇒ $q42_1_2 / 8$
- ・1カ月あたり：1月4週で計算 ⇒ $q42_1_3 / (q41_1_1 * 4)$
- ・1年あたり：1年48週で計算 ⇒ $q42_1_4 / (q41_1_1 * 48)$

② 時間あたり賃金が計算できないケース ⇒ 非該当

非該当となるのは以下の場合。

- ・ $q42_1sq$ = 「1カ月あたり」または「1年あたり」のうち、1週間の所定内労働時間 $q41_1_1$ = 「非該当」または「無回答」
- ・ $q42_1$ = 「歩合給」のうち、 $q42_1sq$ = 「1時間あたり」以外
- ・ $q42_1$ = 「給与がなかった」

③ 給与金額に関する情報が無回答 ⇒ 無回答

$q42_1_1$ ~ $q42_1_5$ のいずれかが「無回答」

(2) 2007年3月の給与 (wage07)

① 時間あたり賃金が計算できるケース ⇒ 時間あたり賃金

時間あたりに割り戻す基準は $q42_2sq$ で判断する。なお1週間の所定内労働時間は $q41_2_2$ の各レンジの中央値を用いる。

- ・1時間あたり：金額そのまま ⇒ $q42_2_1$
- ・1日あたり：1日8時間で計算 ⇒ $q42_2_2 / 8$
- ・1カ月あたり：1月4週で計算 ⇒ $q42_2_3 / (q41_2_2 \text{ のレンジの中央値} * 4)$
- ・1年あたり：1年48週で計算 ⇒ $q42_2_4 / (q41_2_2 \text{ のレンジの中央値} * 48)$

② 時間あたり賃金が計算できないケース ⇒ 非該当

非該当となるのは以下の場合。

- ・ $q42_2sq$ = 「1カ月あたり」または「1年あたり」のうち、1週間の所定内労働時間 $q41_2_2$ = 「非該当」、「無回答」または「覚えていない」
- ・ $q42_2$ = 「歩合給」のうち、 $q42_2sq$ = 「1時間あたり」以外
- ・ $q42_2$ = 「給与がなかった」
- ・ $q42_2$ = 「働いていなかった」

③ 給与金額に関する情報が無回答 ⇒ 無回答

$q42_2_1$ ~ $q42_2_5$ のいずれかが「無回答」

2. 調査票の回答項目以外で追加された変数の定義

以下は、調査票の回答項目として直接設定されていないが、『働くことと学ぶことについての調査』のデータセットに加えられている変数について説明する。

(1) 入社前研修ダミー (trng_before)

就業する直前の未就業の期に教育訓練(Off-JT)を受けているケースを1としている。そうでなければ0としている。

(2) 出向・復職ダミー (secondee_returner)

出向または復職したケースは1としている。そうでなければ0としている。

q4_a##\$ (主な勤務先の変化) は経験した勤務先の会社の数を表し、基本的に勤務先が変わると1から2, 3, 4, …と通し番号が増えていく (ただし無職期間は q4_a##\$ = 0)³。出向した場合も通し番号は増えるが、出向先からもとの勤務先に戻ると、通し番号をもとに戻している。また出向以外の理由で離職していた場合も、もとの勤務先に戻れば通し番号をもとに戻している。したがって secondee_returner = 1 のケースは通し番号が必ずしも昇順になっていない。

(3) 結婚時期無回答ダミー (no_mrrg_period)

婚姻状態は、留置調査票と面接調査票の両方から得られる共通の情報が一致しないケースがある。具体的には、婚姻状態について留置票の変数 q38 (現在の未既婚) と q39#02 (現在の同居者) から結婚していると考えられるが、面接票の変数 q10_77a ~ q10_08c (結婚期間) のいずれにも無回答である。この場合、結婚時期無回答ダミーを1とし、そうでなければ0とする。

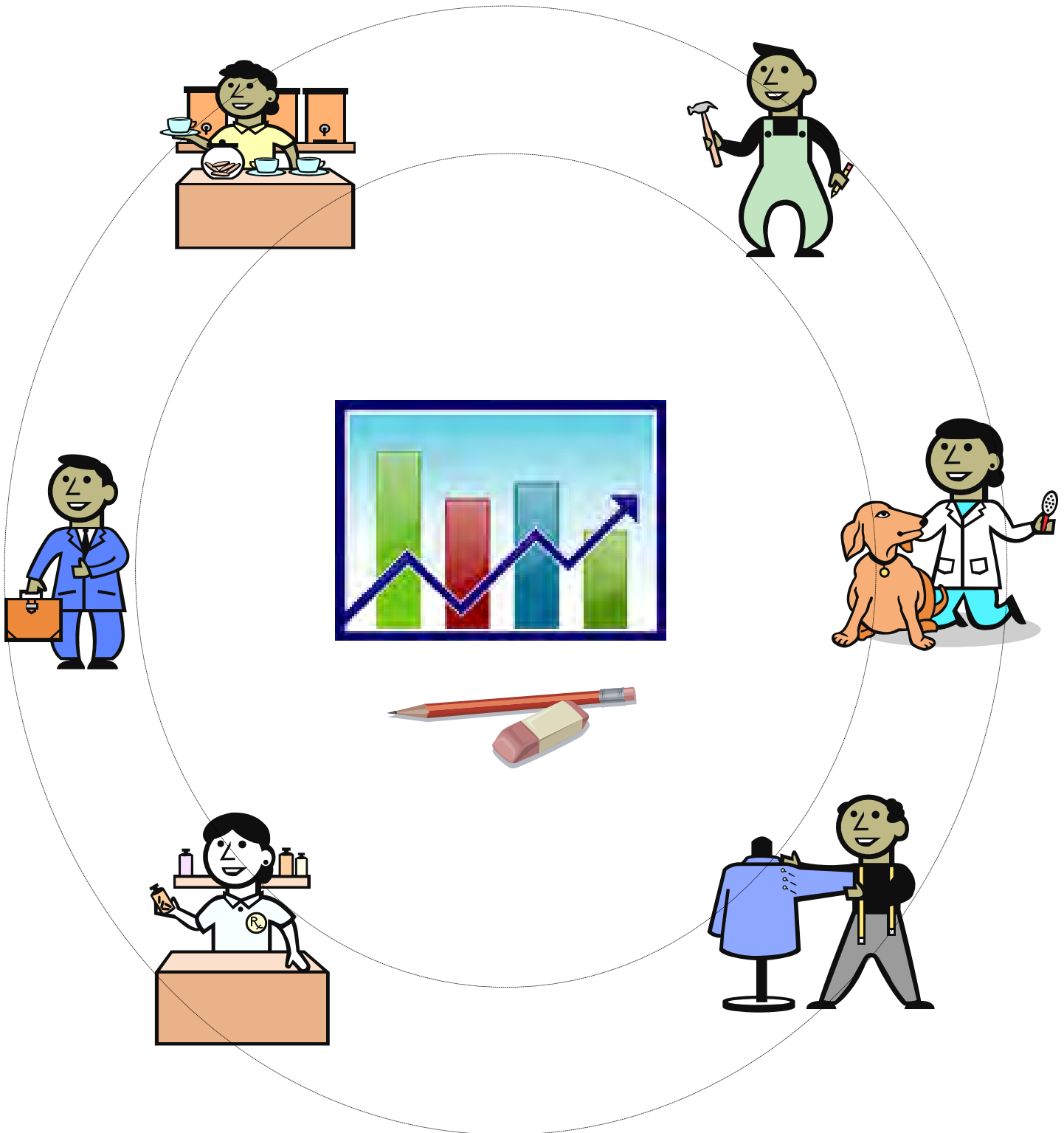
(4) 子ども生年無回答ダミー (no_child_period)

子ども生年についても、留置調査票と面接調査票の両方で共通する情報が一致しないケースがある。具体的には留置票の変数 q39#03 (現在の同居者) , 面接票の変数 q11_child (子どもの人数) から子どもがいると考えられるが、q11_77 ~ q11_08 (子ども生年ダミー) までについていずれにも無回答であるケースがある。そのようなケースを1としている。そうでなければ0としている。

(山本雄三)

³ q4_a##\$ (主な勤務先の変化) は四半期ごとの主な勤務先を表す変数である。##は西暦(年度)の下二桁を表し、\$はa~dでそれぞれ第1四半期から第4四半期を表す。例えば1996年度第一四半期(4~6月)の変数名はq4_a96aであり、2003年度第4四半期(1~3月)のそれはq4_a03dである。

『働くことと学ぶことについての調査』



～調査ご協力のお願い～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

労働政策研究・研修機構は、厚生労働省所管の独立行政法人です。

当機構では、このたび、厚生労働省職業能力開発局からの要請をうけて、日本人の全般的な働き方と仕事のためのスキルや知識を高めるための取り組みの実態を把握するために、「働くことと学ぶことについての調査」を実施することとしました。この調査は、能力開発を十分に行える社会環境の在り方についての検討資料とするものです。

調査の結果は、当機構内に設置された「非正社員の活用と人材育成に関する研究会」において分析し、その結果をもとに政策提言を行ってまいります。

日本全体の傾向をつかむため、無作為に選ばせていただいた結果、あなた様に調査へのご回答をお願いさせていただくことになりました。

ご回答頂きました内容はすべて統計的にコンピューターで処理し、個人名が他に漏れることはありません。大変お忙しい中誠に恐縮ですが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。また、このアンケート調査とともに、別途、インタビュー調査も行わせていただきますが、あわせてご協力をお願い申し上げます。

なお、調査の実施にあたっては、社団法人中央調査社に調査票の送付・回収作業を委託しておりますことを申し添えます。

敬具

平成 20 年 10 月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 稲上 毅

<非正社員の活用と人材育成に関する研究会>

佐藤 博樹	東京大学社会科学研究所 教授（座長）
香川 めい	立教大学社会学部 助教
黒澤 昌子	政策研究大学院大学 教授
小杉 礼子	労働政策研究・研修機構 統括研究員
佐野 嘉秀	法政大学経営学部 准教授
原 ひろみ	労働政策研究・研修機構 研究員
山本 雄三	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員

■ 調査票の内容についてのお問い合わせ先

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
人材育成研究部門

■ 調査票の回収については、下記の調査機関まで
お問い合わせください。

社団法人 中央調査社 管理部



<ご記入上のお願い>

- 本アンケートは、回答をお願いしたご本人がお答えいただきますようお願いいたします。
- 該当する全ての項目にお答えください。また、回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけるか、() や の中に具体的にご記入ください。
- 本アンケート調査の回収および統計処理は、社団法人中央調査社に委託しております。ご記入いただいたアンケート、後日、調査員が回収に伺います。

* 当機構は厚生労働省所管の独立行政法人です。国内外の労働問題や労働政策について総合的な調査研究等を行うことにより、労働政策の立案や労働政策の効果的で効率的な推進に寄与することを目的とした組織です。詳細については、インターネットの当機構のHP (<http://www.jil.go.jp>) または同封のパンフレットをご覧ください。

I. はじめに、現在のあなたの働き方についておうかがいします。

※ 現在とは、2008年9月のことです。

※ 事業を営んでいる方や家業を手伝っている方は、勤務先の会社を事業あるいは家業に置き換えて、以下の質問にお答えください。

問 1 現在の勤務先の会社で、今、あなたはどのような働き方をしていますか。(○は1つ)

※ 派遣会社に正社員として雇用されている派遣社員の方も、「10 派遣社員」を選択してください。

1	経営者・役員 (2.1)
2	自営業主・自由業者・内職 (7.5)
3	家族従業員 (4.8)
4	正社員・正職員 (役職なし) (40.3)
5	正社員・正職員 (職長、班長、組長) (7.5)
6	正社員・正職員 (係長、係長相当職) (5.6)
7	正社員・正職員 (課長、課長相当職) (4.0)
8	正社員・正職員 (部長、部長相当職) (0.9)
9	パート・アルバイト・契約・嘱託・臨時
10	派遣社員 (3.7) (23.1)
11	その他 (0.7)

勤務先の会社での呼び名 (呼称) を具体的に
にお答えください。

例) 社員、社長、キャスト、パートナー、スタッフなど

勤務先での呼び名を記入後、
付問 1 - 1 へお進みください

付問 1 - 1 【問 1 で 9~11 を選んだ方にお尋ねします。1~8 を選んだ方は次ページ問 2 へ】

あなたが、もし希望したとすると、現在の勤務先で正社員に採用・登用される可能性は、どれくらいだと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|------------------|---|-------------------|
| 1 | 間違いなく登用される (6.7) | 4 | ほぼ見込みはない (17.7) |
| 2 | ほぼ登用される (9.2) | 5 | まったく見込みはない (27.9) |
| 3 | 半々 (13.6) | 6 | わからない (23.0) |
- 無回答 (1.8)

付問 1 - 2 【問 1 で 9~11 を選んだ方におたずねします】

現在の勤務先では、あなたは○カ月など期間を決めての雇用 (=雇用契約期間の定めがある契約) ですか。雇用契約期間の定めがある場合は、その期間をご記入ください。(○は1つ)

※ 派遣社員として働いている方は、派遣元での雇用契約期間をご記入ください。

- | | |
|---|---|
| 1 | 雇用契約期間の定めがある (37.6) → 雇用契約期間は <input type="text"/> 年 <input type="text"/> カ月 → 付問 1 - 3 へ |
| 2 | 雇用期間の定めがない (定年までの雇用を含む) (42.1) } 平均 (1.6 年) |
| 3 | わからない (15.6) } 問 2 へ |
- 無回答 (4.7)

付問 1 - 3 【付問 1 - 2 で 1 を選んだ方におたずねします】

あなたの雇用契約は、更新される可能性がどの程度ありますか。(○は1つ)

1	ほぼ間違いなく更新される (59.7)	4	更新される可能性が低い (1.0)
2	更新される可能性が高い (25.8)	5	更新されない (3.9)
3	半々 (5.8)	6	更新されるかどうかまったくわからない (3.1)
			無回答 (0.7)

【全員の方に】

問 2 あなたが現在の勤務先で働き始めたのはいつからですか。また、それは何歳頃でしたか。

※ 派遣社員として働いている方は、現在の派遣先で働き始めたときをお答えください。

※ 現在の勤務先で、途中で働き方（正社員、アルバイト、自営業など）を変えた人は、今の働き方を始めたときではなく、現在の勤務先で働き始めたときをお答えください。

西暦 年 歳頃から
平均 (2001 年) 平均 (26.9 歳)

問 3 あなたは、現在の勤務先で、今の働き方となる直前の働き方は何でしたか。

(○は1つ)

1	学校卒業後、勤務先も働き方もずっと同じである (24.9)
2	現在と同じ勤務先で、パート・契約社員など非正社員として働いていた (3.5)
3	現在と同じ勤務先で、正社員として働いていた (2.6)
4	他の勤務先で、パート・契約社員など非正社員として働いていた (17.5)
5	他の勤務先で、正社員として働いていた (33.4)
6	自営業だった (1.7)
7	派遣社員だった (2.9)
8	この働き方となる前は働いていなかった (10.0)
9	いずれにもあてはまらない (2.7)
	無回答 (0.8)

問 4 あなたが現在の勤務先で今の働き方を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	やりたい仕事ができるから (30.6)	10	組織にしばられたくないから (6.1)
2	資格を活かしたいから (15.1)	11	勤務時間や労働日数が短いから (9.4)
3	能力を発揮したいから (19.6)	12	自分の都合のよい時間に働けるから (14.0)
4	責任の少ない仕事だから (1.7)	13	通勤時間が短いから (18.5)
5	収入が安定しているから (23.8)	14	年収を一定以内におさえたいから (3.1)
6	収入が多いから (7.4)	15	家計の補助、学費等を得たいから (10.5)
7	雇用が安定しているから (16.3)	16	仕事と生活を両立しやすいから (15.9)
8	家業を継ぐため (6.9)	17	時間に余裕ができたから (5.1)
9	正社員として働ける会社がなかったから (6.0)	18	その他 (具体的に:) (8.2) 無回答 (0.5)

問 5 現在、あなたの勤務先の会社全体は、主にどのような事業をしていますか。(○は1つ)

※ 以下で特に断りのない限り、派遣社員として働いている方は、現在の派遣先についてお答えください。

1	農林漁業、鉱業、採石業、砂利採取業	9	不動産業、物品賃貸業 (1.1)
2	建設業 (8.0)	10	学術研究、専門・技術サービス業 (3.5)
3	製造業 (17.0)	11	宿泊業、飲食サービス業 (5.7)
4	電気・ガス・熱供給・水道業 (1.5)	12	生活関連サービス業、娯楽業 (4.6)
5	情報通信業 (3.9)	13	教育、学習支援業 (3.9)
6	運輸業、郵便業 (5.1)	14	医療、福祉 (8.7)
7	卸売業、小売業 (15.9)	15	その他のサービス業 (10～14 以外) (8.6)
8	金融業、保険業 (4.3)	16	その他 (6.7)
			無回答 (0.2)

事業の内容を具体的にお答えください。

例) 学習塾、板金工場、自動車販売、生花販売など

問 6 あなたの現在の勤務先の会社全体で働いている人は、何人くらいですか。あなたご自身、家族従業者、パートや契約社員なども含めてお答えください。(○は1つ)

1	4人以下 (13.5)	6	300～999人 (9.9)
2	5～9人 (10.0)	7	1000人以上 (15.6)
3	10～29人 (13.7)	8	官公庁 (公務員) (4.8)
4	30～99人 (14.3)	9	わからない (6.4)
5	100～299人 (11.4)		無回答 (0.4)

問 7 現在の勤務先で、今、あなたはどのような仕事をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----|--|
| 1 | 専門・技術的職業（医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど）（16.6） |
| 2 | 管理的職業（企業・官公庁における課長職以上、経営者など）（3.6） |
| 3 | 事務的職業（企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など）（21.0） |
| 4 | 販売的職業（店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど）（17.7） |
| 5 | サービスの職業（理・美容師、料理人、ウエイトレス、ホームヘルパーなど）（12.5） |
| 6 | 技能工・生産工程に関わる職業（製品製造・組み立て、自動車整備、建設作業員、
大工、電気工事、農水産物加工など）（20.3） |
| 7 | 運輸・通信的職業（トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など）（4.6） |
| 8 | 保安的職業（警察官、消防官、自衛官、警備員など）（1.1） |
| 9 | 農・林・漁業に関わる職業（農作物生産、家畜飼養、森林培養・伐採、
水産物養殖・漁獲など）（0.9） |
| 10 | その他（1.6）
無回答（0.1） |

お仕事の内容を具体的にお答えください。

例) 美容師、レジ係、経理など

問 8 あなたは、現在、労働組合に入っていますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 勤務先の労働組合に入っている（27.9） |
| 2 | 勤務先以外の労働組合に入っている（1.6） |
| 3 | 入っていない（69.7） |

無回答（0.8）

問 9 今あなたが働いている職場について、あてはまるものはありますか。

(○はいくつでも)

1	残業している人が多い(37.0)	11	新人の仕事や生活についての相談相手が決められている(6.5)
2	人員が常に不足している(29.4)	12	将来の仕事について相談できる機会がある(8.3)
3	締め切りや納期がきつい職場である(15.8)	13	研修会などの仕事の知識や技術を高める機会が多い(24.2)
4	辞める人が多い(20.3)	14	経験する仕事の順番がはっきりしている(6.4)
5	お互いに助け合う雰囲気がある(37.7)	15	いずれもあてはまらない(8.4)
6	一人ひとりが独立して行う仕事が多い(25.3)		
7	職場の人と協力して行う仕事が多い(36.9)		
8	先輩が後輩を教える雰囲気がある(26.8)		
9	本人の希望で異動できる仕組みがある(9.9)		
10	パートや契約社員などから正社員になれる制度がある(15.5)		

無回答(0.4)

問 10 今のあなたの仕事に、新人を配属した場合、どのくらいの期間で一通り仕事ができるようになると思いますか。(○は1つ)

1	1カ月以下(9.9)	4	1年程度(20.9)	7	6～9年程度(1.6)
2	2～3カ月程度(20.1)	5	2～3年程度(18.0)	8	10年以上(1.4)
3	6カ月程度(15.3)	6	4～5年程度(6.7)	9	わからない(5.8)

無回答(0.3)

問 11 あなたの現在の仕事上の能力や知識は、他の勤務先や事業でも役立つと思いますか。

(○は1つ)

1	とても役に立つ(11.1)	4	まったく役に立たない(4.1)
2	ある程度役に立つ(50.8)	5	わからない(15.3)
3	あまり役に立たない(18.6)		

無回答(0.2)

問 12 あなたは、現在の仕事について、以下の a～l にどの程度、満足していますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答
a 収入の水準	1 (8.2)	2 (25.4)	3 (28.5)	4 (23.0)	5 (14.5)	(0.4)
b 収入の安定性	1 (13.8)	2 (29.5)	3 (30.1)	4 (15.8)	5 (10.3)	(0.6)
c 労働時間	1 (16.9)	2 (27.4)	3 (27.1)	4 (17.7)	5 (10.0)	(0.9)
d 休日・休暇	1 (25.9)	2 (28.2)	3 (20.7)	4 (16.5)	5 (8.2)	(0.5)
e 仕事の量	1 (12.3)	2 (23.2)	3 (36.2)	4 (19.1)	5 (8.7)	(0.4)
f 仕事内容	1 (17.5)	2 (32.5)	3 (34.1)	4 (11.5)	5 (3.8)	(0.6)
g 職場の人間関係	1 (21.7)	2 (36.1)	3 (27.3)	4 (9.9)	5 (4.4)	(0.5)
h 雇用・就業の安定性	1 (15.6)	2 (26.9)	3 (39.0)	4 (11.2)	5 (6.4)	(0.9)
i 仕事に役立つ能力や知識 を身につける機会	1 (12.2)	2 (30.4)	3 (40.2)	4 (11.7)	5 (5.1)	(0.4)
j 能力を発揮する機会	1 (12.9)	2 (30.9)	3 (43.5)	4 (8.4)	5 (3.6)	(0.6)
k 仕事全体	1 (11.0)	2 (37.5)	3 (37.9)	4 (9.5)	5 (3.6)	(0.4)
l 今後のキャリアの見通し	1 (5.6)	2 (16.3)	3 (55.5)	4 (13.7)	5 (8.3)	(0.6)

問 13 もし、現在の勤務先で今の働き方を続けるとしたら、今後3年くらいの間に、あなたの仕事はどうなると思いますか。(○はいくつでも)

1 より責任が重くなる (39.5)	6 部下の評価や査定を行う立場になる (7.9)
2 より難しい仕事を担当する (26.2)	7 いまと変わらない (26.8)
3 今とは異なる分野の仕事を担当する (10.9)	8 いずれもあてはまらない (2.0)
4 担当する仕事の幅が広がる (34.8)	9 わからない (7.6)
5 後輩の指導や育成をする機会が増える (27.9)	無回答 (0.3)

問 14 あなたは、現在の勤務先に、今後どのくらい継続して勤めたいですか。(○は1つ)

1 3カ月未満 (2.4)	5 3年以上5年未満 (4.3)
2 3カ月以上6カ月未満 (1.2)	6 5年以上 (4.2)
3 6カ月以上1年未満 (2.4)	7 勤め続けられるかぎり勤めたい (47.1)
4 1年以上3年未満 (8.1)	8 特に決めていない (30.1)

無回答 (0.3)

問 15 今後3年くらいの間に、あなたはどのような働き方(正社員、アルバイト、自営業など)をしたいですか。(○は1つ)

1	現在の会社で、今の働き方を続けたい(56.5)	
2	別の会社で、今の働き方を続けたい(5.9)	
3	現在の会社で、他の働き方に変わりたい(3.1)	} → 付問15 - 1へ
4	別の会社で、他の働き方に変わりたい(8.5)	
5	独立して事業を始めたい(3.9)	
6	仕事をしばらくやめたい(1.6)	
7	仕事をすっかりやめたい(0.7)	
8	その他(具体的に: _____)	(1.9)
9	特に考えていない(17.5)	無回答(0.4)

付問15 - 1 . 【問15 で3, 4 と答えた方におたずねします】

あなたはどのような働き方に変わりたいと思いますか。(○は1つ)

1	正社員・正職員(74.1)	
2	パート・アルバイト・契約社員など(15.4)	
3	派遣社員(1.9)	
4	その他(具体的に: _____)	(8.3)
	無回答(0.2)	

II. ここからは、2007年4月～2008年3月（昨年度1年間）の能力開発の状況について、おうかがいします。

【全員の方に】

問 16 2007年4月～2008年3月（昨年度1年間）に、あなたは働いていましたか。

（○は1つ）

- | | | | |
|---|---------------------------------|---|--------|
| 1 | 継続して働いていた (88.5) | } | 問 17 へ |
| 2 | 働いていたこともあるし、働いていなかったこともある (8.2) | | |
| 3 | まったく働いていなかった (3.3) | | |
- 無回答 (0.0)
- 9 ページ問 20 へ

問 17 2007年4月～2008年3月（昨年度1年間）に、あなたは仕事の能力や知識を高めることにつながる、以下のことを受けたり、したことがありますか。

（○はそれぞれ1つずつ）

①2007年4月～2008年3月（昨年度1年間）の仕事上の能力や知識を高める活動

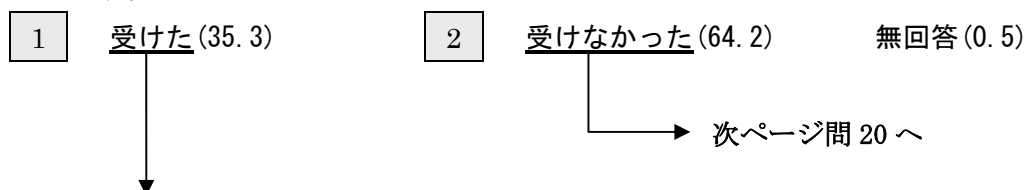
	よくあった	ときどきあった	あまりなかった	まったくなかった	そういう人はいなかった (マニュアルはなかった)	無回答
a 上司や同僚から、仕事上の指導やアドバイスを受けること	1 (25.4)	2 (43.0)	3 (20.0)	4 (5.8)	5 (5.4)	(0.4)
b 部下や同僚に、仕事上の指導やアドバイスをすること	1 (22.4)	2 (39.5)	3 (20.7)	4 (8.8)	5 (8.2)	(0.3)
c 上司や同僚の仕事のやり方を見て学ぶこと	1 (24.6)	2 (43.9)	3 (20.1)	4 (6.4)	5 (4.4)	(0.5)
d 本やマニュアルを読み、自分で勉強して仕事の仕方を学ぶこと	1 (19.9)	2 (36.4)	3 (26.4)	4 (11.8)	5 (5.1)	(0.3)
e 今の仕事に役立つ担当外の仕事を体験すること	1 (7.7)	2 (24.3)	3 (36.1)	4 (30.7)	/	(1.2)
f ミーティング等を通じて、仕事に役立つ情報を共有すること	1 (17.6)	2 (38.7)	3 (26.7)	4 (15.9)	/	(1.2)

②2007年4月～2008年3月（昨年度1年間）の仕事に関する変化

a 仕事の担当範囲	1 幅広くなった (47.5)	2 変化なし (49.8)	3 狭くなった (2.3)		(0.5)
b 仕事のレベル	1 高くなった (44.1)	2 変化なし (53.6)	3 低くなった (1.9)		(0.3)
c 仕事上の責任の大きさ	1 大きくなった (43.5)	2 変化なし (54.3)	3 小さくなった (1.8)		(0.4)
d 部下の人数	1 多くなった (15.9)	2 変化なし (51.7)	3 少なくなった (4.4)	4 部下は いなかった (27.6)	(0.4)

問 18 2007年4月～2008年3月（昨年度1年間）に、あなたは、勤め先の指示で、「教育訓練」を受けましたか。

※「教育訓練」とは、半日以上、ふだんの仕事から離れて参加する研修や講習会のことです。



問 19 2007年4月～2008年3月（昨年度1年間）に、あなたが受けた教育訓練の受講日数は合計でどのくらいですか。（○は1つ）

- | | | | |
|---|--------------------|---|-------------------|
| 1 | 半日程度 (10.6) | 5 | 2週間以上～1カ月未満 (3.9) |
| 2 | 1日程度 (22.3) | 6 | 1カ月以上 (3.6) |
| 3 | 2日以上～1週間未満 (46.3) | 7 | わからない (0.9) |
| 4 | 1週間以上～2週間未満 (12.2) | | 無回答 (0.2) |

付問 19 - 1 ～ 3は、教育訓練を複数受けた方は、期間がもっとも長かったものについてお答えください。

付問 19 - 1 その教育訓練は、どのようなものでしたか。（○は1つ）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | そのときの仕事をするために必要最低限なもの (22.3) |
| 2 | そのときの仕事をよりよく行う上で役立つもの (47.4) |
| 3 | そのときの仕事だけではなく、やがて担当する仕事にも役立つもの (21.6) |
| 4 | そのときの仕事との関係がはっきりとわからないもの (3.7) |
| 5 | その他 (2.7) |
| | 無回答 (2.2) |

付問 19 - 2 あなたが、もし転職したら、その教育訓練で身につけた職業能力や知識は、転職先でどの程度、役に立つと思いますか。(○は1つ)

1	非常に役に立つ(7.8)	4	まったく役に立たない(6.4)
2	役に立つ(41.5)	5	わからない(19.0)
3	あまり役に立たない(24.1)		無回答(1.2)

付問 19 - 3 あなたは、その教育訓練を熱心に受けましたか。(○は1つ)

1	非常に熱心に受けた(18.2)	4	あまり熱心ではなかった(2.9)
2	まあ熱心に受けた(39.7)	5	仕方なく受けた(2.2)
3	ふつうに受けた(35.6)		無回答(1.4)

【全員の方に】

問 20 あなたご自身、2007年4月(昨年4月)とくらべて、現在では、以下のことに変化がありましたか。それぞれもっとも当てはまるものを選んでください。(○は1つ)

	上昇	やや上昇	変化なし	やや低下	低下	無回答
a 主な仕事の収入	1(6.9)	2(31.8)	3(45.1)	4(9.7)	5(5.8)	(0.7)
b 昇進の可能性	1(4.0)	2(14.0)	3(74.7)	4(2.2)	5(4.1)	(1.0)
c 自分が希望する仕事につける可能性	1(3.4)	2(11.2)	3(77.7)	4(3.2)	5(3.5)	(1.2)
d スキルレベル	1(5.8)	2(29.8)	3(60.1)	4(1.4)	5(1.1)	(1.8)
e 仕事遂行能力	1(6.0)	2(30.3)	3(59.4)	4(1.4)	5(1.0)	(1.9)

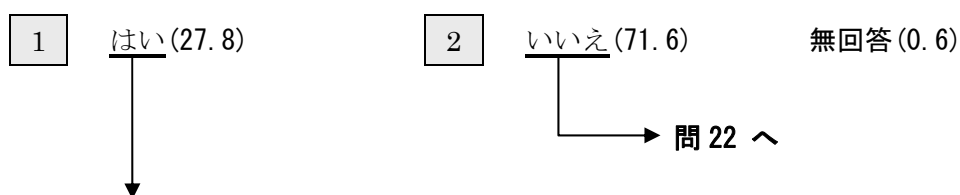
付問 20 - 1 【dかeで、1または2と回答した方におたずねします】

スキルレベル、または仕事遂行能力の上昇に、なにが役立ちましたか。(○はいくつでも)

1	上司や同僚から、仕事上の指導やアドバイスを受けたこと(58.6)
2	部下や同僚に、仕事上の指導やアドバイスをしたこと(28.7)
3	上司や同僚の仕事のやり方を見て学んだこと(48.8)
4	本やマニュアルを読み、自分で勉強して仕事の仕方を学んだこと(48.3)
5	今の仕事に役立つ担当外の仕事を経験したこと(16.8)
6	ミーティング等を通じて、仕事に役立つ情報を共有したこと(31.1)
7	担当する仕事の範囲・幅が広がったこと(50.6)
8	任される仕事の責任が大きくなったこと(47.2)
9	勤務先の指示で研修に参加したこと(17.5)
10	就業時間外に会社の指示でなく、自分からすすんで研修に参加するなど、勉強したこと(13.5)
11	その他(具体的に：) (5.0)

問 21 2007年4月～2008年3月（昨年度1年間）に、あなたは、就業時間外に、勤務先の指示ではなく、自分からすすんで今の仕事やこれからつきたい仕事に関わる勉強（＝自己啓発）をしましたか。

自己啓発の例： 仕事関係の本の購読
 ラジオの英語講座を聴く
 専門学校や社会人大学院への通学
 社内外の自主的な勉強会やセミナーへの参加 など



付問 21 - 1【問 21 で 1 と答えた方におたずねします】

2007年4月～2008年3月（昨年度1年間）に行った自己啓発の合計時間数はだいたいのどのくらいでしたか。（○は1つ）

- | | | | |
|---|-------------------|---|--------------------|
| 1 | 8 時間未満 (13.4) | 4 | 48～100 時間未満 (21.4) |
| 2 | 8～24 時間未満 (15.9) | 5 | 100 時間以上 (16.4) |
| 3 | 24～48 時間未満 (18.1) | 6 | わからない (14.7) |

計算例：

- (1) 毎日、一日 30 分を半年間行った場合（1 カ月 30 日で計算）： 0.5 時間
 $\times 30 \text{ 日} \times 6 \text{ カ月} = 90 \text{ 時間}$
- (2) 毎週末、半日を半年間行った場合（1 日 8 時間、半日 4 時間、1 カ月 4 週間で計算）： 4 時間 $\times 4 \text{ 週間} \times 6 \text{ カ月} = 96 \text{ 時間}$
- (3) 週に 1 回、30 分のラジオ講座を聴いて勉強するのを 1 年間続ける（1 年間 52 週で計算）： 30 分 $\times 52 \text{ 週} = 1560 \text{ 分} = 26 \text{ 時間}$

付問 21 - 2【問 21 で 1 と答えた方におたずねします】

2007年4月～2008年3月（昨年度1年間）の自己啓発にかかった授業料や教材費・参考書購入費などの費用のうち、あなたご自身で支払った金額は、合計でどの程度でしたか。（○は1つ）

- | | | | |
|---|----------------------|---|----------------------|
| 1 | 1 万円未満 (39.5) | 4 | 5 万円以上 10 万円未満 (8.8) |
| 2 | 1 万円以上 3 万円未満 (22.6) | 5 | 10 万円以上 (9.4) |
| 3 | 3 万円以上 5 万円未満 (12.1) | | 無回答 (7.7) |

問 22 現在、あなたは自己啓発を行いたいですか。

- | | | |
|---|------------|---|
| 1 | はい (28.7) | a) 具体的に、何をしたいですか。また1年間に何時間、おいくらくらいで行いたいですか。 |
| 2 | いいえ (70.5) | |
- 無回答 (0.8)

ご自由にご記入ください。

例) ラジオ英会話。週1回30分で年間26時間くらい。1万円くらい。など

問 23 あなたが現在、自己啓発を行うとしたら、次のような問題点はありますか。

(○はいいくつでも)

- | | | | |
|---|--------------------------|----|----------------------------------|
| 1 | 仕事が忙しい (44.3) | 6 | どのような能力や知識を身につけたらよいか分からない (12.3) |
| 2 | 家事・育児・介護など仕事以外のことで忙しい | 7 | 取得すべき資格がわからない (6.3) |
| 3 | 費用を負担できない (33.7) | 8 | 特に困ったことはない (13.6) |
| 4 | どこで学ばばよいのかわからない (9.8) | 9 | そもそも自己啓発に関心がない (6.7) |
| 5 | 信頼のおける教育訓練機関がわからない (9.3) | 10 | その他 (具体的に:) (1.5) |
- 無回答 (2.6)

III. ここからは、今後の職業やキャリアについてのお考えをおたずねします。

問 24 あなたは、a~c それぞれのために、仕事の能力や知識を高めたいと思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	ある程度 そう思う	あまり そう思わ ない	まったく そう 思わな い	わから ない	今後、働 き方 を 変 え る つ も り は な い	無回答
a 今の仕事のために	1 (32.8)	2 (42.4)	3 (16.5)	4 (4.9)	5 (3.1)		(0.3)
b 将来の仕事のために	1 (40.3)	2 (40.3)	3 (12.5)	4 (1.9)	5 (4.6)		(0.2)
c 今後、働き方を変えるため	1 (25.1)	2 (34.7)	3 (22.8)	4 (3.8)	5 (3.8)	6 (7.2)	(0.3)

問 25 あなたは勤務先の上司から、あなたに身につけてほしい能力について、どの程度説明を受けていますか。(○は1つ)

1	十分に受けている(8.7)	4	まったく受けていない(22.7)
2	ある程度受けている(32.3)	5	どちらも言えない(8.9)
3	あまり受けていない(26.8)		無回答(0.6)

問 26 現在の勤務先に限らず転職した場合も含めて、あなたは今後、どのように仕事をしたいですか。(○は1つ)

1	会社幹部もしくは管理職としてマネジメントの仕事につきたい(9.5)
2	専門性や技能を活かせるような仕事につきたい(34.0)
3	社内での地位や仕事内容にこだわらず仕事をしていきたい(15.2)
4	家庭生活や社会貢献などを優先させながら仕事をしたい(22.3)
5	仕事をやめたい(1.5)
6	なりゆきにまかせたい(9.1)
7	わからない(8.2)
	無回答(0.3)

問 27 あなたは、日頃の生活の中で、どの程度充実感を感じていますか。(○は1つ)

1	十分充実感を感じている(11.1)	4	ほとんど充実感を感じていない(5.8)
2	まあ充実感を感じている(55.6)	5	どちらもいえない(8.0)
3	あまり充実感を感じていない(19.2)		無回答(0.2)

付問 27 - 1 以下の a ~ h について、それぞれどの程度充実感を感じていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	十分感じている	まあ感じている	あまり感じていない	ほとんど感じていない	どちらもいえない	無回答
a 日ごろの仕事	1 (11.2)	2 (54.6)	3 (23.6)	4 (7.0)	5 (3.1)	(0.5)
b 今や将来の仕事のための勉強	1 (4.0)	2 (25.6)	3 (42.7)	4 (20.2)	5 (7.0)	(0.5)
c 趣味やスポーツ	1 (12.5)	2 (36.1)	3 (30.0)	4 (17.2)	5 (3.7)	(0.5)
d 職場の仲間や先輩との付き合い	1 (9.6)	2 (43.2)	3 (29.1)	4 (12.2)	5 (5.3)	(0.6)
e 仕事外の友人や知人との付き合い	1 (17.2)	2 (46.5)	3 (22.4)	4 (10.2)	5 (3.3)	(0.4)
f 家族との会話や交流	1 (28.5)	2 (52.0)	3 (13.1)	4 (3.4)	5 (2.3)	(0.6)
g 休養	1 (12.2)	2 (39.6)	3 (30.0)	4 (14.0)	5 (3.6)	(0.5)
h 地域活動やボランティア	1 (3.7)	2 (13.6)	3 (31.0)	4 (37.7)	5 (13.5)	(0.5)

IV. ここでは少しさかのぼって、あなたが学校を出た後のことについて、おうかがいします。

問 28 あなたは、学校を卒業または中退後、初めて収入をとまなう仕事についたのは、いつですか。(○は1つ) また、それは何歳のときでしたか。

※ 在学中のアルバイト先での仕事を卒業後(中退後)も続けた方は、正社員・非正社員の働き方に関係なく、選択肢1を選び、卒業または中退時の年齢と時期をお答えください。

1	学校卒業後(中退後)、すぐについた(85.0)	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> 平均(19.8歳) </div> 初めて仕事についた時 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳
2	学校卒業後(中退後)、3カ月未満で仕事についた(5.7)	
3	学校卒業後(中退後)、3カ月以上たってからついた(7.9)	
無回答(1.4)		時期：西暦 <input style="width: 60px; height: 20px;" type="text"/> 年 平均(1994年)

問 29 あなたは、どのようにしてその最初の仕事をみつけましたか。もっともあてはまるもの1つをお答えください。(○は1つ)

1	学校の就職指導・紹介で(46.2)	7	その会社から誘われて(2.1)
2	公共職業安定所(ハローワーク)の紹介で(3.0)	8	家業についた(3.2)
3	民間の職業紹介機関の紹介で(0.9)	9	自分で事業をはじめた(0.2)
4	人材派遣企業に登録して(0.3)	10	在学中からの仕事を続けた(2.2)
5	新卒採用の求人広告(インターネットや雑誌等を含む)や説明会で(9.9)	11	家族・親戚の紹介で(9.4)
6	一般の求人広告(インターネットや雑誌等を含む)や説明会で(9.3)	12	友人・知人の紹介で(8.7)
		13	わからない(0.9)
		14	その他(具体的に: _____) (2.5)
		無回答(1.0)	

問 30 その最初の勤務先で、あなたはどのような働き方をしていましたか。(○は1つ)

※ 派遣会社に正社員として雇用されていた派遣社員の方も、「6 派遣社員」を選択してください。

1	経営者・役員(0.1)	5	パート・アルバイト・契約・嘱託・臨時(17.4)
2	自営業主・自由業者・内職(0.6)	6	派遣社員(1.1)
3	家族従業員(3.0)	7	その他(具体的に:) (0.4)
4	正規の社員・職員(77.4)		

問 31 その最初の勤務先で、あなたはどのような仕事をしていましたか。もっとも近いものを1つお答えください。(○は1つ)

1	専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど)(17.5)
2	管理的職業(企業・官公庁における課長職以上、経営者など)(0.1)
3	事務的職業(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など)(21.8)
4	販売的職業(店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど)(18.7)
5	サービスの職業(理・美容師、料理人、ウエイトレス、ホームヘルパーなど)(14.6)
6	技能工・生産工程に関わる職業(製品製造・組み立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など)(21.6)
7	運輸・通信的職業(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など)(2.7)
8	保安的職業(警察官、消防官、自衛官、警備員など)(1.4)
9	農・林・漁業に関わる職業(農作物生産、家畜飼養、森林培養・伐採、水産物養殖・漁獲など)(0.5)
10	その他(1.0) 無回答(0.0)

お仕事の内容を具体的にお答えください。

例) 美容師、レジ係、経理など

問 32 その最初の勤務先の会社全体で働いている人は、何人くらいでしたか。(○は1つ)

1	4人以下(5.2)	6	300～499人(6.4)
2	5～9人(10.0)	7	500～999人(5.5)
3	10～29人(13.9)	8	1000人以上(17.0)
4	30～99人(15.1)	9	官公庁(公務員)(3.7)
5	100～299人(15.6)	10	わからない(6.9)
			無回答(0.5)

問 33 その最初の勤務先の職場について、あてはまるものはありますか。(○はいくつでも)

1	ほぼ毎日残業していた(37.3)	11	新人の仕事や生活についての相談相手が決められていた(9.8)
2	人員が常に不足していた(15.5)	12	将来の仕事について相談できる機会があった(7.4)
3	締め切りや納期がきつい職場であった(15.4)	13	研修会などの仕事の知識や技術を高める機会が多かった(24.0)
4	辞める人が多かった(25.7)	14	経験する仕事の順番がはっきりしていた(13.5)
5	お互いに助け合う雰囲気があった(38.2)	15	いずれもあてはまらない(6.1)
6	一人ひとりが独立して行う仕事が多かった(20.5)		
7	職場の人と協力して行う仕事が多かった(36.9)		
8	先輩が後輩を教える雰囲気があった(46.8)		
9	本人の希望で異動できる仕組みがあった(7.5)		
10	パートや契約社員などから正社員になれる制度があった(10.9)		
			無回答(0.6)

V. 最後に、全員に、あなたご自身・ご家族についておうかがいします。

※ 2008年9月現在でお答えください。

問 34 あなたの性別は。(○は1つ)

1	男性(58.6)
2	女性(41.4)

問 35 あなたの年齢と生年月月をご記入ください。

歳 西暦 年 月 生まれ
 (2008年9月現在) 平均(1973年)
 平均(34.5歳)

問 36 あなたの最後に在学した学校を教えてください。(○は1つ) また、その学校での
 学科や専攻をご記入ください。

(1) 学校の種類

1	中学(1.5)	4	短大(8.3)	7	大学院(2.1)
2	高校(39.3)	5	高専(0.6)	8	その他(0.6)
3	専門・各種学校(21.5)	6	大学(26.1)		無回答(0.0)

最終学歴の学科・専攻

例：普通科、工業科、経済学部、理工学部など

(2) あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも現在、
 在学中ですか。(○は1つ) また卒業か中退の方は、その時期をご記入ください。

1	卒業(93.0)	2	途中退学(6.8)	3	在学中(0.2)	無回答(0.0)
---	----------	---	-----------	---	----------	----------

時期：西暦 年

平均(1994年)

問 37 中学三年生の頃、あなたの成績は学年でどれくらいだったと思われますか。(○は1つ)

1	上の方(13.8)	4	やや下の方(14.3)
2	やや上の方(19.8)	5	下の方(11.9)
3	真ん中あたり(36.5)	6	わからない(3.4)
			無回答(0.4)

問 38 あなたは、現在結婚していますか。またご結婚されている場合は、配偶者が収入を
 ともなう仕事をしていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

1	結婚している(66.8)	配偶者が、
2	結婚していない(33.2)	

1	フルタイムで収入をともなう仕事をしている(49.0)
2	パートタイムで収入をともなう仕事をしている(20.3)
3	収入をともなう仕事をしていない(29.5)
	無回答(1.2)

問 39 あなたは、現在どなたと一緒に住んでいますか。(○はいくつでも)

1	単身 (一人暮らし) (7.8)	6	配偶者の父親(3.8)
2	配偶者(65.3)	7	配偶者の母親(5.1)
3	子ども(60.8)	8	あなた、または配偶者の兄弟姉妹(8.7)
4	あなたの父親(22.7)	9	あなた、または配偶者の祖父母(3.8)
5	あなたの母親(27.5)	10	その他(具体的に:) (1.3)

無回答(0.2)

問 40 あなたと一緒に住んでいるご家族のうち、生活費を主に負担しているのはどなたですか。(○は1つ)

1	自分(53.2)	5	配偶者の父・母(1.2)
2	配偶者(25.5)	6	あなた、または配偶者の兄弟姉妹(0.5)
3	子ども(0.1)	7	あなた、または配偶者の祖父・祖母(0.2)
4	あなたの父・母(21.4)	8	その他(具体的に:) (0.1)

無回答(0.8)

※複数回答者がいるため、構成比の総和は100にならない。

問 41 あなたは、9月の最後の週(2008年)の所定労働時間と残業時間は1週間あたり何時間でしたか。また1年半前の(2007年3月の最後の週)の所定労働時間は1週間あたり何時間でしたか。あわせて、職場の所在地の都道府県をご記入ください。

(1) 9月の最後の週(2008年)

※働いた方のうち残業時間がなかった方は、記入欄に“0”をご記入ください。なお自営業など残業時間があてはまらない方は残業時間の記入は不要です。

1	働いていた(96.9)	→	(i) 1週間の所定労働時間
2	働いていなかった(2.9)		1週間あたり <input type="text"/> 時間 平均(38.7)時間
無回答(0.1)			(ii) 残業時間(所定労働時間を超えた時間)
			1週間あたり <input type="text"/> 時間 平均(5.7)時間
			(iii) 職場の所在地
			<input type="text"/> 都道 <input type="text"/> 府県

(2) 1年半前(2007年3月の最終週)

1	働いていた(91.7)	→	(i) 1週間の所定労働時間			
2	働いていなかった(8.2)		1	10時間未満(5.5)	6	30～35時間未満(5.0)
	無回答(0.1)		2	10～15時間未満(3.7)	7	35～40時間未満(18.4)
			3	15～20時間未満(3.3)	8	40～45時間未満(26.2)
			4	20～25時間未満(3.4)	9	45時間以上(22.3)
			5	25～30時間未満(3.4)	10	覚えていない(6.9)
						無回答(2.0)

(ii) 職場の所在地

	都道
	府県

問 42 2008年9月と1年半前(2007年3月)に、あなたの給与はどのように支払われていましたか。それは、だいたいおいくらでしたか。番号を1つ選び、おおよそで構いませんので、税込みの金額をご記入ください。

(1) 2008年9月の給与(賞与・残業代を除く)

(17.9)	(4.7)	(64.9)	(2.1)	(4.0)	(2.1)
1 時給	2 日給	3 月給	4 年俸	5 歩合給	6 給与はなかった
					無回答(4.2)

1	1時間あたり	約	円
2	1日あたり		
3	1カ月あたり		
4	1年あたり		

該当する番号を○で囲み、金額をご記入ください

1時間あたり	(16.4)	平均(998.8円)	N=639
1日あたり	(5.2)	平均(10,703.0円)	N=203
1カ月あたり	(70.2)	平均(252,796.0円)	N=2704
1年あたり	(4.3)	平均(4,523,878.9円)	N=166
無回答	(3.9)	平均(1,020,000.0円)	N=2

※Nは給与金額について無回答者を除いた人数である。

働くことと学ぶこと 面接調査記入用紙 1枚目(1977年度～1992年度)

生年月 西暦_____年_____月生まれ (2008年9月30日現在 満_____歳) 性別 男・女

★2枚目に続くときは、生年月と性別を2

		70年代																									
項目番号	西暦	年度	1977		1978		1979		1980	1981	1982	1983															
	昭和・平成	年度	昭和 52		昭和 53		昭和 54		昭和 55	昭和 56	昭和 57	昭和 58															
			4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	
			〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
			月	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
年齢	①	年齢(各年、4月1日現在)																									
		できごと	日航機ハジヤック事件		キャンディーズ解散		第二次オイルショック		モスクワ五輪ボイコット	チャールズ・ダイアナ英国皇太子妃結婚	第1次中曽根内閣発足	東京デイスコート開園 NHK連続ドラマ「おし															
教育	②	1高校/2高専/3短大/4大学/5大学院番号を記入																									
	③	6各種・専修学校/7その他の学校番号を記入																									
		西暦	年度	1977		1978		1979		1980	1981	1982	1983														
		昭和・平成	年度	昭和 52		昭和 53		昭和 54		昭和 55	昭和 56	昭和 57	昭和 58														
				4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
				〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			月	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
仕事経験	④	勤務先	主な勤務先の変化(通し番号を記入)																								
			合計[]社経験																								
	同時に2つ以上の勤務先に勤めていた場合、副業はこちらの欄に記入																										
	⑤	働き方	主な勤務先での働き方の番号を記入(下のリストから選択。)																								
	⑥	職業	職業の番号を記入(下のリストから選択・同時に複数ある場合は主なもの1つ。わからない場合は「99」を記入)																								
	⑦	無職	無職の期間があったときに○を記入																								
⑧	能力開発	教育訓練(Off-JT)※1を受講した年度に○を記入																									
⑨	能力開発	仕事に関係する自己啓発※2を行った年度に○を記入																									
		西暦	年度	1977		1978		1979		1980	1981	1982	1983														
		昭和・平成	年度	昭和 52		昭和 53		昭和 54		昭和 55	昭和 56	昭和 57	昭和 58														
				4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
				〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			月	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
ライフイベント	⑩	結婚	結婚した年度に○、している(た)期間に——を引く																								
	⑪	子ども	合計[] 子どもが生まれた年度に○を記入																								

- 「学校」のリスト
- 1 高校
 - 2 高等専門学校
 - 3 短期大学
 - 4 大学
 - 5 大学院
 - 6 各種学校・専門学校
 - 7 その他の学校

※在学最終年度の数字を卒業なら「○」、中退なら「△」で囲むこと

- 「働き方」のリスト
- 1 経営者・役員
 - 2 自営業主・自由業者・内職
 - 3 家族従業者
 - 4 正社員・正職員
 - 5 パート・アルバイト、契約、嘱託・臨時(週当たり労働時間が正社員より短い)
 - 6 パート・アルバイト、契約、嘱託・臨時(週当たり労働時間が正社員とほぼ同じ)
 - 7 派遣社員
 - 8 その他

- 「職業」のリスト
- 1 専門・技術的職業
 - 2 管理的職業
 - 3 事務的職業
 - 4 販売的職業
 - 5 サービス的職業
 - 6 技能工・生産工程の職業
 - 7 運輸・通信的職業
 - 8 保安的職業

働くことと学ぶこと 面接調査記入用紙 2枚目(1993年度～現在)

生年月 西暦 _____年 _____月 生まれ (2008年9月30日現在 満 _____歳)性別 男・女

★2枚目に続くときは、生年月と性別を2

90年代

項目番号	西暦 昭和・平成	年度	1993 平成 5				1994 平成 6				1995 平成 7				1996 平成 8				1997 平成 9				1998 平成 10				1999 平成 11							
			4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1				
		月	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
①	年齢	(各年、4月1日現在)																																
	できごと		皇太子・雅子妃ご成婚				松本サリン事件				阪神大震災 オウム事件				薬害エイズ事件				金融危機(山一証券、北海道拓銀破たん)															
教育	②	1高校/2高専/3短大/4大学/5大学院 番号を記入																																
	③	6各種・専修学校/7その他の学校 番号を記入																																
項目番号	西暦 昭和・平成	年度	1993 平成 5				1994 平成 6				1995 平成 7				1996 平成 8				1997 平成 9				1998 平成 10				1999 平成 11							
			4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1				
		月	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
仕事経験	④	勤務先	主な勤務先の変化(通し番号を記入) 合計[]社経験																															
			同時に2つ以上の勤務先に勤めていた場合、副業はこちらの欄に記入																															
	⑤	働き方	主な勤務先での働き方の番号を記入(下のリストから選択。)																															
	⑥	職業	職業の番号を記入(下のリストから選択・同時に複数ある場合は主なもの1つ。わからない場合は「99」を記入)																															
	⑦	無職	無職の期間があったときに○を記入																															
	⑧	能力開発	教育訓練(Off-JT)※1	を受講した年度に○を記入																														
			仕事に関する自己啓発※2	を行った年度に○を記入																														
	項目番号	西暦 昭和・平成	年度	1993 平成 5				1994 平成 6				1995 平成 7				1996 平成 8				1997 平成 9				1998 平成 10				1999 平成 11						
				4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1			
		月	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
ライフイベント	⑩	結婚	結婚した年に○、している(た)期間に——を引く																															
	⑪	子ども	合計[] 子どもが生まれた年に○を記入																															

- 「学校」のリスト
- 1 高校
 - 2 高等専門学校
 - 3 短期大学
 - 4 大学
 - 5 大学院
 - 6 各種学校・専門学校
 - 7 その他の学校

※在学最終年度の数字を卒業なら「○」、中退なら「△」で囲むこと

- 「働き方」のリスト
- 1 経営者・役員
 - 2 自営業主・自由業者・内職
 - 3 家族従業者
 - 4 正社員・正職員
 - 5 パート・アルバイト、契約、嘱託・臨時(週当たり労働時間が正社員より短い)
 - 6 パート・アルバイト、契約、嘱託・臨時(週当たり労働時間が正社員とほぼ同じ)
 - 7 派遣社員
 - 8 その他

- 「職業」のリスト
- 1 専門・技術的職業
 - 2 管理的職業
 - 3 事務的職業
 - 4 販売的職業
 - 5 サービス的職業
 - 6 技能工・生産工程の職業
 - 7 運輸・通信的職業
 - 8 保安的職業

枚目にも転記すること

整理番号

留置調査の 前 後

00年代									項目番号	
2000 平成 12	2001 平成 13	2002 平成 14	2003 平成 15	2004 平成 16	2005 平成 17	2006 平成 18	2007 平成 19	2008 平成20		
4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	①	年齢
	第1次小泉内閣発足 アメリカ同時 多発テロ			新潟県中越沖地 震	郵政解散					
									②	教育
									③	
2000 平成 12	2001 平成 13	2002 平成 14	2003 平成 15	2004 平成 16	2005 平成 17	2006 平成 18	2007 平成 19	2008 平成20		
4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3	4 7 10 1 6 9 12 3		
									④	仕事経験
									⑤	
									⑥	
									⑦	
									⑧	
									⑨	
									⑩	
									⑪	

9 農・林・漁業関連の職業
10 その他

※1 教育訓練(Off-JT)とは、勤め先の指示で、仕事から離れて参加する講習会や勉強会などのことです。
 ※2 自己啓発とは、就業時間以外に、勤め先の指示ではなく、自分の意志でおこなった仕事に役立てようとしておこなう勉強のことです。このような勉強を年間20時間以上おこなった場合のみ○をつけてください。
 例：5ヶ月の間、毎週1時間英会話学校に通学する(1時間×20週間=20時間)
 週に1回、30分のラジオ講座を聴いて勉強するのを1年間続ける(30分×52週=26時間)

※1993年以降は2枚目に記入してください。

労働政策研究報告書 No.117

非正規社員のキャリア形成 ―能力開発と正社員転換の実態―

発行年月日 2010年 3月 30日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

(照会先) 研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104

(販売) 研究調整部成果普及課 TEL:03-5903-6263

FAX:03-5903-6115

印刷・製本 有限会社 太平印刷

©2010 JILPT

* 労働政策研究報告書全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)